



向かって左が津波伝承館、右が道の駅高田松原(2019年7月撮影)

Construction examples

03

高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設(新築工事)

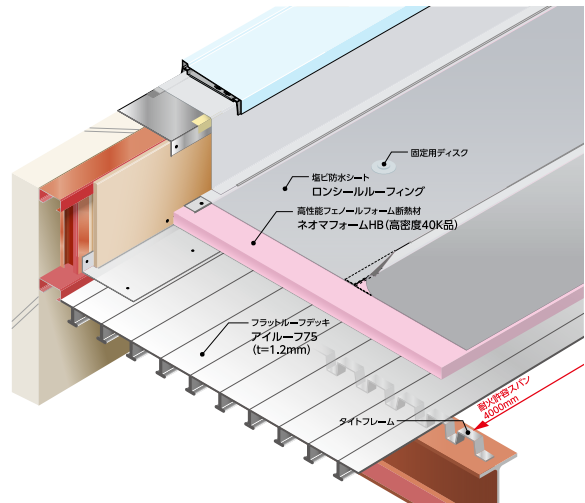
金属下地にもRC下地にも対応 要求性能に応じた防水仕様が選べます

東日本大震災の復興の象徴として注目される施設で、ロンシールシート防水システムが採用されました。展示室などの金属下地屋根部分には、建材メーカー3社のコラボレーションにより誕生した「SD-F高断熱仕様」を施工。また、大屋根のRC下地には接着工法で施工されるなど多様性が評価されました。



▲大屋根は接着工法で施工

▲下屋はSD-F高断熱仕様を採用



▲SD-F高断熱仕様イメージ



▲献花台が備えられた「海を望む場」



▲伝承館内の展示スペース

所在地 岩手県陸前高田市
仕様・規模 下屋部：SD-F仕様(NBP-222 UD)約1,200㎡
 屋上部：NBP-110 約3,000㎡
設計者 株式会社ブレイク研究所・
 株式会社内藤廣建築設計事務所設計共同体
元請負人 西松建設株式会社
防水施工 株式会社青建防水工業
施工期間 2019年1月～4月

「奇跡の一本松」でも有名な陸前高田市は幾度となく津波の襲来を経験している。その歴史を後世に伝える「東日本大震災津波伝承館(愛称：いわてTSUNAMIメモリアル)」が2019年9月にオープンした。また、同敷地公園内の「国営追悼・祈念施設」の一部や、道の駅「高田松原」も同時に供用が開始された。